

開庁記念
フォトアルバム

未来へ続く、 まちづくりの拠点。

東日本大震災で全壊してから6年半。再建を進めてきた市役所本庁舎が、9月3日に開庁しました。同日行われた開庁式と落成式などの模様をお伝えします。

秋

晴れのすがすがしい日に、市役所本庁舎は開庁しました。東日本大震災で全壊してから約6年半。市民の皆さんと一緒に考え、知恵を出し合い、再建を進めてきた本庁舎は、中心市街地を活性化し、遠野の元気を創造する場として生まれ変わりました。

開庁式は9月3日、市役所本庁舎正面玄関前で開催。市民の皆さんや県内の自治体関係者、工事関係者ら約500人が出席し、未来へ続くまちづくりの拠点の完成を祝いました。式では、市内11小学校の代表児童が元気よく開庁を宣言。消防ラッパ隊のファンファーレと仙人太鼓の力強い演奏が中心市街地に鳴り響き、遠野の歴史に新たなページが刻まれました。

祝
遠野市役所本庁舎落成
市役所開庁式 9月3日(土) 落成式 9月3日(土)

遠野市役所本庁舎
9月3日
開庁。

【写真】
美しい青空の下で輝く本庁舎を背景に開庁式の出席者全員で記念撮影
機材提供…須藤写真館、(株)カクタ設計



開庁記念フォトアルバム

未来へ続く、まちづくりの拠点。

遠野市役所本庁舎
9月3日
開庁。

1_開庁宣言した市内11小学校の代表児童と関係者が一緒にテープカット 2_仲町南部ばやしが華やかな舞を披露しました 3_本庁舎整備に携った皆さんによるくす玉割り 4_消防ラッパ隊のファンファーレが高らかに鳴り響きました 5_水口御祝(小友町)による落成式のオープニング 6_仙人太鼓(上郷町)が力強く演奏しました 7・8_多目的市民ホールでお茶を振る舞う遠野高校茶道部と、遠野コロニーと石上の園の利用者 9_本庁舎整備に協力した人に記念品を贈呈 10_出席者全員で万歳三唱 11_落成祝賀会では遠野大神楽が祝の舞を披露



開

庁式では、地元の郷土芸能を代表して仲町南部ばやしが華やかな舞を披露。このほか、多目的市民ホールでは、遠野コロニーと石上の園の利用者や、遠野高校茶道部によるお茶の振る舞いなども行われました。その後、会場を市民センター大ホールに移し、落成式を開催。本田市長は「この本庁舎を拠点に、市民の皆さんと力を合せ、遠野のまちづくりをさらに前へ進めます」と決意しました。式典では、水口御祝の披露や、市内の中学生による本庁舎の紹介VTRの上映、本庁舎整備に協力した市民や関係

者の皆さんへの記念品贈呈などを実施。最後は出席者全員で万歳三唱し、本庁舎の落成を祝いました。本庁舎は、有識者や市民の皆さんの意見などを踏まえ、とびあ南側に新築。とびあ2階渡り廊下で接続し、全国的にも珍しい商業施設との複合庁舎となりました。東日本大震災以降、市内の公共施設や県の合同庁舎などを間借りすることで、市役所機能を維持してきましたが、本庁舎の完成に伴い分散していた部署を集約。市民の利便性を向上させました。本庁舎の再建に要した費用は、全体で約33億5千万円。

その3分の2にあたる約20億円は、国から財政支援してもらいます。これは、東日本大震災で本庁舎を失いながらも、官民が一体となって沿岸被災地の後方支援活動を展開したことが、全国的に高く評価されたためです。市民の皆さんの思いと熱意がカタチとなった市役所本庁舎。未来へ続くまちづくりの拠点として産声を上げました。本庁舎は、市役所でありながら、市民の交流の場でもあります。市と市民の協働によるまちづくり「遠野スタイル」をこの本庁舎から展開し、「永遠の日本のふるさと遠野」の実現を目指します。